

製品安全データシート

製品名：ウィンザー 381 クーラント
作成：2011年10月24日

1. 製品及び会社情報

製品名：ウィンザー 381 クーラント
製品コード：2333・2334
MSDS整理番号：
会社名：旭エンジニアリング株式会社
住所：〒553-0002 大阪府大阪市鷺洲4-4-3
担当部門：管理部
電話番号：06-6452-5811
FAX番号：06-6452-5770
緊急連絡先：旭エンジニアリング株式会社・営業部、管理部
緊急連絡電話番号：06-6452-5811

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物
成分（CAS NO.）及び含量：PRTR法・安衛法

成分	CAS番号	含量	PRTR法	安衛法
精製鉱物油	公表せず	55%以下	非該当	非公表
トリエタノールアミン	102-71-6	5%以下	非該当	非公表

* この製品に発癌物質は含まれていない。

3. 危険有害性の要約

分類の名称 引火性液体（水溶解性）

危険性 吸引した時、あるいは眼に入った時は喉、鼻等に軽い刺激、炎症を起こすことがある。

有害性

- 目に入った場合 通常の使用では目に対する影響はない。しかし、液体が目接触到または換気の悪い場所で濃度の高い蒸気に触れると発赤し炎症を起こす恐れがある。
- 皮膚に接触した場合 短時間の接触で皮膚炎症を起こすことはあまりない。しかし、長時間もしくは、繰り返し皮膚が液体に接触すると炎症や赤みを帯びることがある。ひどくなると、かゆみ、乾燥、ひび割れといった炎症が起こる。
- 吸入した場合 濃度の高い蒸気を吸い込むと呼吸器官に重度な炎症を起こす恐れがある。また、換気の悪いところで使用すると、くしゃみ、咳、呼吸困難に陥ることがある。
- 飲み込んだ場合 腹痛や不快感を伴う。

4. 応急措置

- 目に入った場合 眼をあけたまま、直ちに流水で15分以上洗眼する。もし噴霧・蒸気にさらされている場合は、新鮮な空気のある場所に移す。それでも炎症が続くようであれば、その炎症が治まるまで流水で洗眼し、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼により、触れた部分を洗い流す。汚染した衣服は廃棄すること。皮膚に炎症が生じた場合は医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合 呼吸障害や炎症があれば患者を直ちに空気のある新鮮な場所に移し、速やかに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 少量の場合、さほど応急措置は必要ではないかもしれない。ただし、多量に飲み込んだ場合もしくは何らかの症状が出た場合にはコップ二杯分の水もしくは牛乳で胃の中を薄める。(注意：意識のない患者に対しては何も与えてはならない) 医師のいないところで嘔吐させてはならない。もし自然に嘔吐を催した時には、気道を通しておくこと。このような症状が続くようであれば医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

- 消火方法 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。また、延焼のおそれのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。しかし、燃えている製品に直接水で消火作業はしてはならない、なぜなら、延焼が拡大する恐れがある。また、場合によっては呼吸用保護具を着用する。製品の不完全燃焼の時、一酸化炭素が発生する可能性がある。
- 消火剤 ドライケミカル、泡、二酸化炭素が有効である。

6. 漏洩時の措置

- ・付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・作業の際には必ず保護具（無浸透性手袋、安全眼鏡等）を着用する。
- ・風下で作業をしない。
- ・少量の場合は、土砂等で吸着させて空容器に回収する。
- ・大量の場合は、漏洩した液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、液の表面を泡等で覆い、できるだけ空容器に回収する。液が河川等に排出されないように注意する。

7. 取扱い及び貯蔵上の注意

取扱い

- ・吸引また眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・容器をあけるときの圧力をかけないようにゆっくりと開封する。また使用しないときは、容器の蓋を密封しておくこと。
- ・換気のよい所で作業する。
- ・使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。
- ・この製品の取扱い時、空き缶、空き容器を扱うとき、すべての安全予防措置をとること。
- ・空の容器の残存液は燃えやすいので、過度に加熱・切断はしないこと。発火の恐れ、また爆発を誘発する原因になる。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の乱暴な取扱いをしないこと。

貯蔵

- ・製品の品質維持のため高温・直射日光を避け、密閉して室内で貯蔵する。
- ・保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
- ・ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 室内の取扱いは発生源の密閉化を行うか、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所付近に安全シャワー、洗眼、うがい、手洗い装置を設け、その位置を明瞭に表示する。

許容濃度

	精製鉱物油	トリエタノールアミン
ACGIH TLV	5mg/m ³ (ミスト状)	
ACGIH STEL	10mg/m ³ (ミスト状)	
OSHA PEL	5mg/m ³ (ミスト状)	
OSHA PEL/ACGIH TWA		5mg/m ³

保護具

手の保護具 耐油性保護手袋
 目の保護具 ケミカルゴーグル（液の飛散があるときは、さらに顔面覆いの防災面を着用）
 皮膚及び身体の保護具 耐油性保護衣服、耐油性保護長靴、耐油性前掛け

9. 物理／化学的性質

外 観 かすんだ緑色液体
 臭 気 特有
 水溶解性 乳化する
 引火点 176℃ (Cleveland Open Cup)
 比 重 0.986

10. 安全性及び反応性

安定性 通常条件では安定。
 避けるべき条件 熱、火気厳禁。
 避けるべき物質 強酸、強塩基、酸化剤との接触を避ける。亜硝酸塩と混合してはならない。
 有害な分解生成物 アミン化合物を含むので亜硝酸塩と混合するとニトロソアミンを生成する可能性がある。
 熱分解生成物 炭素酸化物、塩化水素の酸性ガス、アンモニア、窒素酸化物、硫黄酸化物。

11. 危険有害性情報

GHS ラベル要素；シンボル：



注意喚起語

警 告

皮膚刺激、強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

刺激性

皮膚に付着及び飲み込んだ場合、消化器官等に弱い刺激性がある。

眼などに入った場合、炎症を起こす。

12. 環境影響情報

分解性 データなし

蓄積性 データなし

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。投棄禁止。

14. 輸送上の注意

注意事項

- ・堅牢で容易に変形しない容器に入れ、漏れないことを確かめ、輸送。
- ・運搬に際しては転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

- ・消防法 危険物第四類引火性液体、 第三石油類、危険等級Ⅲ、火気厳禁。

16. その他の情報

本製品安全データシート（MSDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDSの中の注意事項は通常の手扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な手扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社はMSDS記載内容について充分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。